



減らそう犯罪通信

令和元年11月号

発行・編集

広島県警察本部

生活安全総務課

〒730-8507

広島市中区基町9-42

TEL 082(228)0110

FAX 082(222)7902

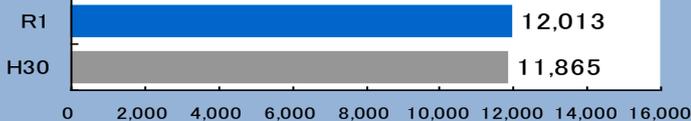
統計

広島県内の犯罪の発生状況

令和元年(1~10月)

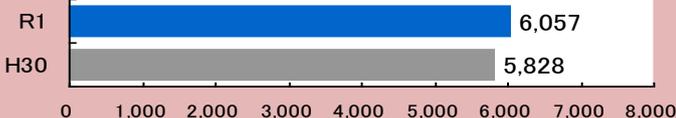
刑法犯総数

目標(～R2)
年間 17,000 件以下



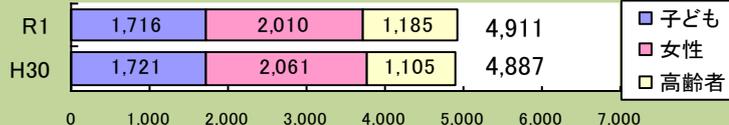
身近な犯罪

目標(～R2)
年間 8,500 件以下



子供・女性・高齢者被害の刑法犯

目標(～R2)
年間 7,000 件以下



特殊詐欺の被害状況(架空請求詐欺・還付金等詐欺など)

区分	認知件数		被害額	
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比
特殊詐欺	150件	-16件	約2億3,070万円	-約1億233万円

※「身近な犯罪」とは、乗り物盗、街頭犯罪、侵入強・窃盗、性犯罪の4類型14罪種の総称です。

ちょっと教えて!!

犯罪情報官



交通死亡事故が多発!

11月1日から7日までで、6件の交通死亡事故が発生し、6人(うち3人が高齢者)の尊い命が失われました。この憂慮すべき状況により、8日、交通死亡事故多発に係る知事談話が発出されました。

県民のみなさん一人ひとりが、交通ルールと交通マナーを守り、ゆとりとゆずり合いによる交通事故の防止に努めていきましょう!

- ★ 速度を控え、車間距離をとり、安全確認を確実に!
- ★ 横断歩道は、歩行者優先!
- ★ 夜間は上向きライトの活用を!
- ★ 自転車や歩行者の方は、反射材用品を着用しましょう!

がんばれ! まちの防犯ボランティア



基町地区防犯連合会

～広島中央～

基町地区防犯連合会は、昭和35年に発足し、通学時間帯における見守り活動のほか、毎週土曜日には防犯パトロールを実施しています。

本年8月17日には、夜間の大規模合同パトロール(各自治会長、地域安全推進員、交通安全推進隊)を実施するなど盛んに活動しています。



駅家学区まちづくり推進委員会

～福山北～

駅家学区まちづくり推進委員会は、平成19年に発足し、地域安全推進委員、小・中学校PTA等を中心に会員数は150名で、登下校の見守り活動及び独自に企画した老人会での防犯講話、スーパーでの特殊被害防止広報活動、駅での自転車盗難防止広報活動などの継続した活動を実施し、学区民の安全安心、防犯意識の醸成に努めています。



減らそう犯罪 トピックス

元広島東洋カープの達川光男氏を起用した優良防犯電話の広報キャンペーン

10月20日、エディオンアルパーク南店で元広島東洋カープの達川光男氏による優良防犯電話を紹介するトークショーと同氏を起用した優良防犯電話の広報チラシを配布するキャンペーンを実施しました。



第18回広島県「減らそう犯罪」推進会議の開催結果



11月21日、県庁東館大会議室で、県民、事業者、防犯ボランティア、行政機関の代表など委員31名出席のもと、第18回広島県「減らそう犯罪」推進会議を開催しました。

会議では、来年の取組方向や次期アクション・プランの策定について全会一致で承認されたほか、今後の運動に係る活発な意見交換が行われました。

令和2年におけるの基本的な取組方向

1 身近な犯罪被害の抑止

- 身近な犯罪の発生に関する効果的な情報発信
- 施錠意識の浸透と防犯性能の高い住宅・製品等の普及
- ガイドラインの普及による防犯カメラの設置促進

2 子供・女性・高齢者等の安全確保

- 防犯リーダーの育成及び「登下校防犯プラン」の推進
- 事業者による防犯CSR活動の促進
- 高齢者等を犯罪から守る環境の構築と取組の強化

3 新たな犯罪脅威への対応

- サイバー犯罪への抵抗力の強化
- 多様な主体による特殊詐欺被害防止対策の推進

次期アクション・プランの策定

1 計画期間

令和3年～令和7年までの5年間

2 策定方針

- 第4期アクション・プランを検証し、これまで成果を挙げってきた取組を継承
- 県民、行政、事業者等が協働・連携し、犯罪の起きにくいまちづくりを推進
- 変化する社会情勢や犯罪情勢に対する的確な対応
- 「ひろしま未来チャレンジビジョン」との連動

主な意見

部谷副会長（広島県防犯連合会会長）



防犯ボランティアが、これまで以上に住民の身近な存在として、防犯行動に影響を与えるような活動を推進するためにも、防犯ボランティアの担い手の育成並びに積極参加を促すような活動形態の工夫等が必要と考えてます。

徳田副会長（公益社団法人広島消費者協会会長）



特殊詐欺の被害に遭わないためには地域で声を掛けあったり、色々な事例等を話し合うといった地域活動がとても大切だと思います。

小川委員（福岡大学法科大学院教授）



規範意識の低下が大きな犯罪につながる一番根本的なところなので、プラン体系の「意識づくり」として「規範意識の向上」を今後の取組の課題として取り組んで頂きたい。

これまでの取組が非常に大きな成果を挙げている、これを継承・発展するということが次期プランに関してありましたけれど、もう一つ「初心に返って」ということも今後の取組の考え方として取り入れて頂ければと思います。

平成28年～令和2年

「めざそう！
安全・安心・日本一」
ひろしまアクション・プラン

運動目標

県民だれもが穏やかで幸せな暮らしを実感できる
日本一安全・安心な広島県の実現

重点項目

- 身近な犯罪被害の抑止
- 子供・女性・高齢者等の安全確保
- 新たな犯罪脅威への対応



犯罪発生マップ

あなたのまちの犯罪発生状況がマップで分かる！

